

総務企画

委員長 高野 哲郎
副委員長 二木 攻

委員

竹田 良平
出戸 清克
円地 仁志
宮西 健吉
宮川 吉男
表川 靖二

■議案第17号 小松市部設置条例の一部を改正する条例について

名称や組織改正が度々行われると、市民や現場に混乱を招くこともあり、今後は、組織の定着も視野に入れながら組織改正を実施するよう強く求める意見がありました。

又、空港・基地政策課の名称について、小松空港は防衛省が管理している空港なので、基地の名称を先に標記すべきではないかとの意見がありました。

■議案第26号 小松市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

平成22・24・26年度に審議会を開催し、給料月額等が適正であるとの答申後も、減額率が増え、減額が常態化していることから、給料月額について、小松市特別職報酬等審議会へ副市長・教育長も含め、諮問するよう求める意見がありました。

■新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症により、マスク、消毒液は入手困難な状況が続いています。防災安全センターでは、サージカルマスク等約6万枚の備蓄のうち、市民病院などに提供し、現在約3万6千枚の在庫となっています。

優先度を見極めながら対応しているということですが、適切な管理を行い、計画的な提供・備蓄を徹底するよう求める意見がありました。

福祉文教

委員長 吉本 慎太郎
副委員長 岡山 晃宏

委員

吉田 寛治
新田 寛之
吉村 範明
橋本 米子
灰田 昌典

■議案第30号 小松市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

成年後見制度の利用を必要とする方が、印鑑登録制度を利用できることとなります。無断で作成・悪用出来ないよう制度が整備されていることですが、適正に手続きを行うよう求める意見が出されました。

■議案第32号 小松市介護保険条例及び小松市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

納期をこれまでの年間12回から、9回に変更し、3か月間の仮徴収を廃止するものです。広報やホームページなどで周知を行うとのことですが、分かりやすい説明に努めるよう、特段の配慮を求めました。

■議案第33号 小松市病院事業の設置並びに管理条例の一部を改正する条例について

病院内に「訪問看護ステーション」を設置するもので、退院後も安心感のある在宅療養支援を受けられることとなり、患者さん、ご家族がより豊かな人生を送ることができるよう期待するものです。

■新型コロナウイルス感染症への対応について

急な休校により混乱が予想された学校や放課後児童クラブにおいて、大きな問題もなくスムーズに運営できているという報告を受けました。

今後も引き続き、子供たちの安心を第一に、適切な対応を行うよう求める意見が出されました。

経済建設

委員長 南藤 陽一
副委員長 東 浩一

委員

木下 裕介
梅田 利和
片山 瞬次郎
川崎 順次
杉林 憲治

■議案第18号 小松市音楽賞条例について

こまつの音楽文化の振興を図り、次世代へつなぐべくりに資することを目的に、成績顕著で有能な個人等を顕彰するため、小松市音楽賞を創設することです。

授賞者選考にあたっては厳重な審査を行い、賞の品格を保っていきけるよう求める意見が出されました。

■議案第21号 小松市立博物館・美術館設置条例について

博物館法の改正により、博物館施設を教育委員会の所管から市長部局へ移管し、新たな条例を制定して、条例を一本化することです。

市長部局へ移管後も資料の収集や保管、研究、展示など博物館の本質的な役割と活動が損なわれることのないよう求める意見が出されました。

■新型コロナウイルス感染症に対する中小企業支援について

売り上げなどが減少している市内中小企業へ利子補給等の助成を行うことやPR支援策として、売上減少が著しい観光業などに対して自らPRし誘客を図るための経費を助成することです。

PR支援策については、飲食業のみならず、工芸品なども対象にしてはどうかとの意見や、他業種の実態についても注視し、適宜迅速な対策を講ずるよう取り組んでほしいと求める意見が出されました。

特別委員会 調査報告

小松基地・空港対策特別委員会

| | | | |
|------|-------|----|--------|
| 委員長 | 灰田 昌典 | 委員 | 新田 寛之 |
| 副委員長 | 高野 哲郎 | | 梅田 利和 |
| | | | 片山 瞬次郎 |
| | | | 二木 攻 |
| | | | 川崎 順次 |

■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点では、小松基地における訓練計画はないとのこと。

今後とも、訓練実施の際には、市民の安全・安心を図るため、これまで以上に安全対策、騒音対策を徹底し、飛行の安全や協定の順守を求めました。訓練の実施については、小松市民にとって関心の高いことであることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。

■小松基地騒音訴訟に関連して

3月12日に金沢地方裁判所において、「第5、6次小松基地騒音訴訟」の第1審判決がありました。基地の騒音障害に対しては、国において各種対策が進められているところであり、本市においても「基地との共存共栄のまちづくり」が進められています。今後とも、基地周辺住民の生活環境の改善に一層効果的な施策を講じていくよう求めました。

■小松空港定期路線の運航状況等について

新型コロナウイルス感染症の広まりを受け3月17日現在、国際線3路線はいずれも全便運休している等報告を受けました。

■県立航空プラザについて

航空プラザで常設展示する前政府専用機（B-747 貴賓室）については、現在、6月オープンに向けて工事中であり2階展示場に設置される予定です。

■今年度4月から機構改革により、基地対策部門と民航関連部門とが統合編成され、新しい所管が発定されます。

人口問題対策調査特別委員会

| | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 宮川 吉男 | 委員 | 東 浩一 |
| 副委員長 | 竹田 良平 | | 南藤 陽一 |
| | | | 木下 裕介 |
| | | | 宮西 健吉 |
| | | | 橋本 米子 |

■子育て世代の方々との意見交換について

市内認定こども園で意見交換を行いました。男性の育児休業取得を望む声が多く、委員からは育児休業取得を積極的に認めるような新たな政策や、経済的支援策として、育児を取得した際に収入減となる減額部分を助成する政策が必要ではないかと意見が出されました。

また、経済的な援助を求める声も多くありました。もう一人子供が欲しくても踏み切れない理由の一つに経済的な要因があります。当委員会では、今後子育てに対する要望実現に向け、制度の創設・見直しを検討するよう求めていきます。

委員からは、国民健康保険税の均等割が加入者一人ひとりにかかることから、第2子以降の軽減を求める意見がありました。

■来年度の定住・結婚支援政策について

定住支援政策については、補助対象者を増やしたいの思いから見直しを行い、令和2年度から利用しやすいように変更を行っております。制度が変わることで申請漏れ等が無いように業者に改正内容の周知徹底を求める意見が出されました。

結婚支援政策については、こまつNPOセンターが積極的に活動されていますが、婚活を支援されている団体やグループは他にも多くあることから、そうした団体等とも情報交換を行いながら進めてほしいと求める意見が出されました。

交流人口拡大に関する調査特別委員会

| | | | |
|------|-------|----|--------|
| 委員長 | 表 靖二 | 委員 | 岡山 晃宏 |
| 副委員長 | 吉村 範明 | | 吉田 寛治 |
| | | | 吉本 慎太郎 |
| | | | 円地 仁志 |
| | | | 杉林 憲治 |

■安宅住吉神社・安宅町内会の視察について

聴取した課題として、松林整備の人手不足や融雪装置の必要性、観光客も利用できるトイレの整備、安宅の関と住吉神社相互に誘導する案内板の設置など、基本的なハード整備が挙げられました。

交流人口拡大に向け、全国的なテレビ放映等の誘致や、インター・空港から安宅への道路のイメージづくり、レンタカー利用促進対策等の意見が出されました。

■北陸エアーミナルビル株式会社(小松空港)の視察について

聴取した課題として、新規就航路線獲得や、第2滑走路の整備などの機能強化が挙げられました。

国際情勢は観光・運輸業等に大きな影響があるので、観光・運輸業者に対する経済的支援策についての意見がありました。

交流人口拡大のため、最終目的地としてだけでなく、トランジットとしての活用促進などの意見が出されました。

ルール・アンド・フライトの相乗効果により、旅客の選択肢が広がります。昨年の大型台風の新幹線運休の際も、飛行機が代替手段となりえたので、積極的に内外にPRする必要があると確認しました。

今後は更に、「食を核とした交流人口拡大の取り組み事例」等について調査研究を進めていきたいと考えています。

◆3月定例会の議決結果◆

■全会一致で議決された議案

| | 議案名 | 議決結果 |
|---|-------------------------------------|-----------------------------|
| 予算案 (15件) | 第2号 令和2年度小松市国民健康保険事業特別会計予算 | 可決 |
| | 第3号 令和2年度小松市介護保険事業特別会計予算 | 〃 |
| | 第4号 令和2年度小松市公債管理特別会計予算 | 〃 |
| | 第5号 令和2年度小松市産業団地事業特別会計予算 | 〃 |
| | 第6号 令和2年度小松市後期高齢者医療特別会計予算 | 〃 |
| | 第7号 令和2年度小松市水道事業会計予算 | 〃 |
| | 第8号 令和2年度小松市下水道事業会計予算 | 〃 |
| | 第9号 令和2年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算 | 〃 |
| | 第10号 令和元年度小松市一般会計補正予算(第4号) | 〃 |
| | 第11号 令和元年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) | 〃 |
| | 第12号 令和元年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第3号) | 〃 |
| | 第13号 令和元年度小松市公債管理特別会計補正予算(第1号) | 〃 |
| | 第14号 令和元年度小松市産業団地事業特別会計補正予算(第3号) | 〃 |
| | 第15号 令和元年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | 〃 |
| | 第16号 令和元年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第2号) | 〃 |
| | 条例案 (17件) | 第17号 小松市部設置条例の一部を改正する条例について |
| 第18号 小松市音楽賞条例について | | 〃 |
| 第19号 「安宅の関」こまつ勸進帳の里条例について | | 〃 |
| 第20号 小松市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第21号 小松市立博物館・美術館設置条例について | | 〃 |
| 第22号 小松市生涯学習センター条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第23号 せせらぎの郷条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第24号 小松市営住宅条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第25号 小松市監査委員条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第26号 小松市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第27号 小松市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第28号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第29号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第30号 小松市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第31号 小松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第32号 小松市介護保険条例及び小松市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| 第33号 小松市病院事業の設置並びに管理条例の一部を改正する条例について | | 〃 |
| その他議案 (6件) | 第34号 財産の出資について | 〃 |
| | 第35号 公立大学法人公立小松大学定款の変更について | 〃 |
| | 第36号 南加賀広域圏事務組合理約の変更について | 〃 |
| | 第37号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について | 〃 |
| | 第38号 指定管理者の指定について | 〃 |
| | 第39号 市道路線の廃止について | 〃 |
| 議員提出議案 (5件) | 第1号 新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書 | 〃 |
| | 第2号 小松市議会委員会条例の一部を改正する条例について | 〃 |
| | 第3号 心身障害者医療費助成制度の早期創設を求める意見書 | 〃 |
| | 第4号 持続可能な医療・介護制度の確立を求める意見書 | 〃 |
| | 第5号 地球温暖化対策の加速度的な推進を求める意見書 | 〃 |

■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

| 議案名 | 会派自民 | | | | | | | | | | 自民党こまつ | | | 無会派 | | | | 議決結果 | | | | | |
|----------------|-------------------------|------|-----|------|------|-------|------|------|-----|------|--------|------|------|-----|------|------|------|------|-------|------|------|------|----|
| | 灰田昌典 | 杉林憲治 | 表靖二 | 宮川吉男 | 高野哲郎 | 吉本慎太郎 | 梅田利和 | 南藤陽一 | 東浩一 | 岡山晃宏 | 竹田良平 | 宮西健吉 | 川崎順次 | 二木攻 | 吉村範明 | 橋本米子 | 円地仁志 | | 片山瞬次郎 | 新田寛之 | 木下裕介 | 吉田寛治 | |
| 予算案 (1件) | 第1号 令和2年度小松市一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議員提出議案 (1件) | 第6号 選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | 否決 | |

※出戸清克議長、新田寛之副議長は小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。※出戸清克議長は採決には加わりません。

予定 6月定例会の日程

※日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】 議会事務局 ☎0761-24-8138

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|------------|-----------------|-----------|----------------|---------------|----|
| 5/31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| | | 傍聴可能なもののみ記載 | | 本会議(開会) | | |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| | 議会運営委員会 | | | 質疑・質問 | 質疑・質問 | |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | 常任委員会(分科会) | 常任委員会(分科会)特別委員会 | | | 予算決算常任委員会総括質疑 | |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| | | | 予算決算常任委員会 | 議会運営委員会本会議(閉会) | | |
| 28 | 29 | 30 | 7/1 | 2 | 3 | 4 |

6月4日には市長による提案説明、6月11・12日には市政に対する質問、6月25日には委員長報告等・採決が行われます。
小松市政について、活発な議論が行われますのでぜひご覧ください。



小松市
イメージキャラクター
カブッキー

☆議会傍聴 ☆テレビ小松 ☆ホームページ(議会生中継・録画配信)
<https://www.city.komatsu.lg.jp/citycouncil/index.html>

編集後記

議会だより編集委員会

委員長 南藤 陽一
副委員長 竹田 良平
委員 岡山 晃宏
東 浩一
吉田 寛治
吉村 範明



3月定例会では新型コロナウイルス感染拡大防止策とそれに伴う企業への経営支援策について会派の代表質問の中で取り上げられ、市の対策をいただきました。本議会だよりが届く5月時点でも厳戒態勢が続いていると思いますが、一刻も早い終息を願うばかりです。

この編集後記は新聞一面の隅にある小欄のようなもので、昨年4月以来私が担当させて頂くのは初めてになります。新聞ほど読まれていないこの議会だよりです。内容の充実はもちろんですが、日頃から議員一人ひとりの活動に関心を持ってもらえるようにしていかなければなりません。

未熟者ですが、これからもしっかりと務めていきたいと思っております。今後ともよろしく願い致します。(竹田 良平)

新型コロナウイルス感染症についてのお願い

感染予防のためにできること

- 石けんやアルコール消毒液などによるこまめな**手洗い**
- 正しいマスク着用を含む**咳エチケット**
- 特に、高齢者や持病のある方は公共交通機関や**人混みを避ける**

マスクがない時



とっさの時



ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
袖で口・鼻を覆う

不動産鑑定士 澤矢豊伸 TEL0761-21-1122
中小企業診断士 社会保険労務士 竹内広幸 TEL0761-22-9990
税理士 行政書士 谷口勇一 TEL0761-76-5503
弁護士 杉本昌之 TEL0761-24-3633
弁護士 中西祐一 TEL076-256-5413
司法書士 三輪哲也 TEL0761-43-0848
土地家屋調査士 行政書士 山崎 豊 TEL0761-20-3175



◆法律◆多重債務◆税金◆登記
◆年金◆会社設立◆相続 等のご相談をお気軽に【秘密厳守】
私たちが相談に応じます。

サポートネット 専門家による無料相談会

日時●5月16日(土) ●6月20日(土) 9時~11時30分

会場●小松商工会議所